

令和八年度（二〇二六年度）入学式 式辞

出会いの季節を迎え、風の中に草花の息遣いが感じられる、この良き日に、令和八年度入学式にあたり、熊本県議会議員 荒川 知章（あらかわ ともあき）様、芦北町副町長 松本 俊造（まつもと しゅんぞう）様をはじめ、多くの御来賓の皆様に御臨席を賜り、心より感謝申し上げます。

ただ今、入学を許可しました、九十七名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

私たち教職員と在校生一同、皆さんの入学を心から歓迎します。

この芦北高校は、百年余りの歴史を誇る、地域とともにある学校です。卒業生は一万六千名を超え、地元、芦北町はもちろんのこと、県内外においても広く活躍をされています。多くの方々から大きな期待と応援、愛情を寄せていただき、その期待に応え、元気を届けるべく、全ての教育活動と農業科、林業科、福祉科それぞれで特色ある教育を実践しています。これから三年間、ともに学び、ともに歩んでいきましょう。

校訓の「敬愛、勤勉、創造」は、人を敬い愛する心、精神を集中して一心に勤める姿、一から創りあげる力を重視しています。この校訓を胸に刻むことで、高校生活とその後の社会生活において自分を支える基軸となるはずです。

教育スローガンは「私は挑戦する、夢を実現するために」。「私は」、皆さん一人ひとりのことです。今日を大切に歩むことは、自分に挑戦することでもあります。夢や目標を実現するために少しずつ歩み続けます。まずは半歩先にある目標を目の前に置いてください。半歩踏み出せば重なる明日の姿があり、成長した自分に出会えます。全職員で皆さんの挑戦を応援します。

さて、人として大切なものを育み、人との関わりの中で成長し続けていき、何歳になっても決して忘れてはならないのは「美しい心」を持つことです。感謝の心を持ち、謙虚な思いで、自らを律することが美しい心につながります。謙虚さはお守りとも言われます。驕らず、人を妬まず、自分に期待し、喜びと楽しさを実感していきましょう。決していじめや人を傷つけること、人を笑うことなどは許されません。今日出会った人も、皆さんの周りのたくさんの方が幸せだから自分も幸せだと言えます。正しき道を歩み、皆で幸せになりましょう。

保護者並びに御家族の皆様にもお祝いを申し上げます。本日のお子様の御入学、誠におめでとうございます。本校は地元、芦北町より多大な御支援をいただき、安心して学べる教育環境が整っていることをお知りおきください。

本日から、大切なお子様と共に学ぶ上で、この場をお借りして保護者の皆様にお願いがございます。教育は、学校だけでできるものではなく、学校にできることには限界があります。家庭と学校は互いに理解し合い、協力し合う関係でありたいと考えております。お子様の成長を願う気持ちは同じです。お子様のことでの御相談は、私たちと共有しいただき、より良い対応につなげていきましょう。お子様が経験するであろう、悩みや困り事を乗り越えられるように、共に支え合いましょう。卒業を迎える日に笑い合えるよう、本校の教育活動に御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本日入学された新入生の皆さんの高校生活がワクワク、煌めくことを祈念し、式辞といたします。

令和八年四月八日

熊本県立芦北高等学校長 草野 貴光